



群馬県神流町 神流マウンテンラン&ウォーク実行委員会
**少子高齢化日本一の町が創った、
 日本一のトレイルランニングレース**



神流町の地域資源の活用と地域活性化を目的とした「神流マウンテンラン&ウォーク」は、平成24年で4回目の開催となる。多くの町民に支えられ、全町一丸となって行う手作りイベントである。

事例の概要

群馬県南部に位置し、四方を急峻な山々に囲まれている神流町は、国立社会保障・人口問題研究所の発表によると、2025年に高齢化日本一となることが予想され、過疎化・高齢化が大きな課題となっている。

その中で、町の活性化策として町の財産である雄大な自然を活用して山村と都市との交流を図るイベントを行おうと、地域団体等が主体となり、平成21年に実行委員会を組織し、山道を走るトレイルランニングレース(神流マウンテンラン&ウォーク)を開催した。

平成21年の第1回大会から年々参加者数は増え、平成23年の第3回大会には、700人を超える参加があった。また、町の人口の約15パーセントにあたる約400人が運営に関わっており、さらに応援まで含めると、町民の約半数以上が参加しており、地域が一体となったイベントとなっている。

大会前日のそば打ちなどの山村体験、大会前の試走、山の清掃ボランティア、関連ツアーを含めると年間2,000人以上の交流人口があり、大会開催を契機として、町の活性化が図られている。



大会の準備作業には、町民のほか、県内外から多くの方が参加し、総勢400名のスタッフにより、大会が運営される。



樹木や土の匂い、風を全身で感じ駆け抜けるトレイル(山道)は、落ち葉の積もった「ふかふかの極上トレイル」。



標高1,000m付近にある天空の集落「持倉集落」(人口12人)では、その畑で採れたものを使った手打ちそばや花豆が選手全員に振る舞われる。



毎年大会終了後、大会の参加選手が自発的に神流町の山々を「清掃登山」として登ったり、年間を通じて試走に訪れたりするなど、新たな交流が生まれている。

評価のポイント

神流マウンテンラン&ウォークは、神流町の山々を使ったトレイルランニング大会で、地域団体等が主体となって組織された実行委員会を中心に町民の協力により平成21年から毎年開催されている。

町内の宿泊施設が限られているため、参加者の約4割を民泊で受け入れている。それが、地域の郷土料理などを提供する前夜祭と併せて、結果的に参加者と町民のふれあいを増やす結果になり、参加者の満足度を高めている。

コース上には、参加者のために複数の休息所が設置されており、その1つは、標高1,000メートル付近の高齢化が進んだ集落に設置されている。その集落で、住民自らが手作りのそばや花豆などを参加者にふるまってくれて力を与えるとともに、住民にとっても若者との交流につながり、励みとなっている。

行政主導の大会が多い中で本大会は、多くの町民が民泊受け入れや参加賞づくり、コースとなる山道の整備など、思い思いの形で参加する町民主体の取組となっている。また、これらの取組の結果、参加者の高い評価を受けたことで、神流町の新たな「誇り」が生まれるという効果も創出されている。

地域の「山」という資源と「人」という資産を生かした手作りのイベントを通して、町民と参加者の交流が図られ、地域の活性化につながっている。

本事例においては、このような点が評価された。

群馬県 神流町(かなまち)

【団体名】 神流マウンテンラン&ウォーク実行委員会
 【所在地】 〒370-1592 群馬県多野郡神流町大字万場90-6
 【連絡先】 TEL:0274-57-2111(神流町役場産業振興課内) FAX:0274-57-3399
 E-mail: office@kanna-mountain.sakura.ne.jp
 URL: http://kanna-mountain-run.com/

- 【交通のご案内】
- 自動車** ●上信越自動車道 藤岡ICから県道13号、国道462号経由1時間
 ●関越自動車道 本庄児玉ICから国道462号経由1時間
 - 鉄道** ●JR高崎線新町駅からバス1時間15分



国勢調査人口(単位:人)					人口増減率(単位:%)			
昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	H17/S35	H17/S55	H17/H12	H22/H17
8,766	5,469	3,210	2,757	2,352	-68.5	-49.6	-14.1	-14.7

高齢者・若年者比率(H22年)(単位:%)			
高齢者比率	52.3	若年者比率	5.8